

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年01月19日

計画の名称	香取市における公共用水域の水質改善計画（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	香取市												
計画の目標	下水道整備により快適な生活環境をととのえと共に、下流水道水源の水質改善に寄与する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	232	A	232	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	香取市公共下水道総合地震対策計画に位置付けられている耐震化対策を行い、実施進捗率を0%から42%に増加させることによって施設（管渠・処理場・ポンプ場）の耐震性の向上を図る。 総合地震対策計画に基づき施設耐震化進捗率 耐震化済みの施設（箇所） / 耐震化すべき施設（箇所）	0%	21%	42%
2	地域防災計画に位置付けられた避難所におけるマンホールトイレ設置の設計作成率を0%から100%に増加させる。 地域防災計画に位置付けられた避難所におけるマンホールトイレ設置の設計作成率 マンホールトイレ設置設計済み数（箇所） / マンホールトイレを設置すべき数（箇所）	0%	0%	100%
3	非常用発電設備が未整備の下水道施設における非常用発電設備設計作成率を0%から66%に増加させる。 非常用発電設備が未整備の下水道施設における非常用発電設備設計作成率 非常用発電設備の設計作成施設数（箇所） / 非常用発電設備未整備の下水道施設数（箇所）	0%	0%	66%
4	下水道施設の耐水化計画策定率を0%から100%に増加させる。 下水道施設の耐水化計画策定率 下水道施設の耐水化計画策定施設数（箇所） / 下水道施設の耐水化計画を策定すべき施設数（箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	香取市	直接	-	-	改築	香取市下水道総合地震対策(地震対策)	マンホール液状化対策、処理場・ポンプ場の躯体補強	香取市						171		策定済	
		総合地震																		
	A07-002	下水道	一般	香取市	直接	-	-	新設	マンホールトイレ(地震対策)	マンホールトイレ設置実施設計	香取市						11		策定済	
		総合地震																		
	A07-003	下水道	一般	香取市	直接	-	終末処理場	新設	小見川浄化センター(地震対策)	非常用発電設備実施設計	香取市						7		策定済	
		総合地震																		
	A07-004	下水道	一般	香取市	直接	-	ポンプ場	新設	新寺ポンプ場(地震対策)	非常用発電設備実施設計	香取市						11		策定済	
		総合地震																		
	A07-005	下水道	一般	香取市	直接	-	-	-	耐水化計画策定	調査・計画	香取市						32		-	
		総合地震																		
											小計						232			
											合計						232			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
香取市水道事業等運営審議会により評価を実施	令和6年1月
	公表の方法
	香取市ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	処理場・ポンプ場、重要な幹線等の耐震実施設計及び工事を実施し、耐震性能を確保した。 マンホールトイレ設置の実施設計を完了し、工事実施に向けた計画が作成された。 小見川浄化センター及び新寺ポンプ場の非常用発電設備の実施設計が完了し、工事実施に向けた計画を作成した。 下水道施設の耐水化計画を策定し、耐水化工事実施に向けた計画が作成された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
ストックマネジメント計画及び総合地震対策計画に基づく下水道施設の調査及び改築、マンホールトイレの整備を計画的に進め、安全安心で快適な暮らしの実現を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	42%
	最終実績値	42%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	最終目標値	66%
	最終実績値	66%
4	最終目標値	100%
	最終実績値	100%